

## うんな中学校 オリジナルTシャツを寄贈

塩屋区出身のクリエイティブディレクター吉田ロベルト氏より、令和5年度に小学校を卒業する全児童に対し、うんな中学校オリジナルTシャツの寄贈がありました。

今回寄贈されたTシャツは、万座毛活性化施設内のショップの売り上げの一部で製作しています。うんな中学校開校時から5回目の寄贈となり、生徒たちは、各種学校行事などで着用しています。

吉田氏は、「小学校を卒業して、4月からは新しい環境となる。心機一転、気合を入れて頑張ってください」と激励しました。宜志富教育長は「今年恩納村の小学校を卒業する皆さんだけに寄贈される特別なもの。子どもたちには、大事に着てもらいたい。今年も寄贈いただき、大変ありがたく思います」と感謝の言葉を伝えました。



### 山田小学校松尾校長と卒業生の皆さん

卒業生は「早くこれを着て、うんな中学校での学校行事を楽しみたい」と嬉しそうな表情を見せてくれました。

## 子どもたちへボール寄贈



3月2日、韓国プロ野球球団のサムスンライオンズから、少年野球5チーム・うんな中学校野球部・女子ソフトボール部にボールの寄贈がありました。

子どもたちは韓国語で「ありがとうございます」と元気よくお礼を伝え、パク監督は「練習に励み、頑張ってください」と激励しました。

## 「JA共済オリジナル親子健康手帳ケース」寄贈

2月19日、JAおきなわ恩納支店より親子健康手帳ケースの寄贈がありました。この取り組みは、JA共済の地域貢献活動の一環として、次世代を担うお子さまの誕生を祝福するとともに、安心して子育てができる環境づくりの支援を目的としています。

手帳ケースは、親子健康手帳や診察券、保険証などが収納できる便利な作りとなっており、例年好評をいただいています。

村では妊娠届出の際、親子健康手帳と一緒に配布しています。

